

埼玉県企業のメインバンク実態調査（2023 年版）

埼玉りそな銀行がトップ

～売り上げ規模別、地域別では、それぞれの特徴が鮮明に～

はじめに

新型コロナで経済が極めて不安定な状態に陥っていたここ 3 年半ほど、金融機関は企業支援に関して多大なる役割を果たしてきた。いわゆる「ゼロゼロ融資」をはじめ、各行の手厚い資金繰り支援もあって、企業倒産はかつての予想に反して歴史的低水準を維持。経済的な混乱を多少なりとも鎮めたことは、各方面より評価を受けることが多い。半面、この間はいうまでもなく非常事態で、金融機関同士の競争はあまり働いていなかったとみることもできる。アフターコロナ到来による経済活動の正常化が進むなか、今後は本来の競争環境を取り戻し、企業に対しては本業支援のスタンスに切り替える必要がある。

帝国データバンク大宮支店は、2023 年 10 月末時点の企業概要データベース「COSMOS2」（147 万社収録）から、埼玉県の企業（約 6 万 2000 社）がメインバンクと認識している金融機関（1 行のみ）を調べ、その数を集計した。

***なお、この数値は融資金額を基にした調査結果ではなく、県内企業への融資シェアを直接反映したものである。**

調査結果（要旨）

1. 埼玉県内の企業約 6 万 2000 社のメインバンクで、最も数が多かったのは埼玉りそな銀行の 1 万 6891 社で構成比は 27.2%。2 位は武蔵野銀行の 7439 社で同 12.0%。3 位は埼玉縣信金の 6467 社で同 10.4%。3 行の合計は 49.7%でほぼ半数。
2. 業種別では、埼玉県内に本店を置く 6 つの金融機関全てがトップ 10 にランクインしたのが「建設」「製造」「不動産」。3 大メガバンクは「建設」を除く 6 業種でトップ 10 入り。
3. 売り上げ規模別では、規模が小さい企業は信用金庫を、規模が大きくなるとメガバンクをメインバンクとする企業の割合が高くなる傾向に。
4. 地域別では、それぞれの地域に本店を有する金融機関、また、隣接する県や沿線に多くの店舗を置いている県外の金融機関も上位にランクイン。

1. 全体結果

埼玉県内の企業約 6 万 2000 社がメインバンクとして認識している金融機関 1 行（以下、信用金庫等も「行」と呼ぶ）を調べ、その数が多かった上位 20 行の一覧が下の表。

1 位は大手地域金融機関の埼玉りそな銀行で 1 万 6891 社、構成比は 27.2%。2 位は武蔵野銀行の 7439 社で同 12.0%、3 位は埼玉縣信金の 6467 社で同 10.4%となった。上位 3 行の構成比合計は 49.7%となり、埼玉県企業のメインバンクはこの 3 行でほぼ半数を占める結果となった。また、いわゆる 3 大メガバンク（みずほ銀行、三菱UFJ 銀行、三井住友銀行）が 4 位から 6 位にランクインした一方、県内外の信用金庫が顔ぶれの半分を占めた。上位 20 行をメインバンクと認識する県内企業は合計 5 万 6095 社、構成比 90.5%と全体の 9 割超になった。

上位 20 行の本店所在地を都府県別でみると、埼玉県が 6 行、群馬県と栃木県がそれぞれ 2 行、大阪府が 1 行で、それ以外の 9 行はすべて東京都となり、埼玉県に近い神奈川県、千葉県、茨城県に本店を置く金融機関は上位 20 行には入らなかった。

埼玉県内企業のメインバンク上位20行

順位	金融機関名	本店所在地	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	本店所在地	社数	構成比 (%)
1	埼玉りそな	さいたま市浦和区	16,891	27.2%	11	群馬	群馬県前橋市	1,634	2.6%
2	武蔵野	さいたま市大宮区	7,439	12.0%	12	青木信金	埼玉県川口市	1,619	2.6%
3	埼玉縣信金	埼玉県熊谷市	6,467	10.4%	13	足利	栃木県宇都宮市	1,274	2.1%
4	みずほ	東京都千代田区	2,887	4.7%	14	栃木	栃木県宇都宮市	1,104	1.8%
5	三菱UFJ	東京都千代田区	2,818	4.5%	15	巢鴨信金	東京都豊島区	1,028	1.7%
6	三井住友	東京都千代田区	2,207	3.6%	16	亀有信金	東京都葛飾区	679	1.1%
7	飯能信金	埼玉県飯能市	2,192	3.5%	17	瀧野川信金	東京都北区	668	1.1%
8	川口信金	埼玉県川口市	2,070	3.3%	18	青梅信金	東京都青梅市	513	0.8%
9	城北信金	東京都荒川区	1,913	3.1%	19	りそな	大阪市中央区	494	0.8%
10	東和	群馬県前橋市	1,799	2.9%	20	東京信金	東京都豊島区	399	0.6%
上位20行合計								56,095	90.5%
合計								61,996	100.0%

2. 業種別

主要業種別でみた上位 10 行を集計したものが次頁の表（その他の業種に属する企業を除く）。

いずれの業種においてもトップは埼玉りそな銀行で、2 位は「建設」以外の全てで武蔵野銀行、「建設」で 2 位となった埼玉縣信金がその他の 6 業種において 3 位となった。4 位は「建設」（飯能信金）を除くいずれの業種もメガバンクが入り、5 位も「建設」（川口信金）と「不動産」（飯能信金）の他はメガバンクとなり、存在感が増している。

県内に本店を置く 6 つの金融機関全てがトップ 10 にランクインしたのは、「建設」「製造」「不動産」の 3 業種。約 4 年前の前回調査（2019 年版）では、県内 6 つ全てランクインした業種は「建設」のみであったことから、多少の変化が起きていることがわかる。トップの埼玉りそな銀行は「サービス」において 32.2%のシェアとなり、およそ 3 社に 1 社の割合で他を圧倒している。

一方、3大メガバンクは「建設」を除く6業種でランクインした。このほか、他都県に本店を置く金融機関としては、群馬県の群馬銀行と東和銀行が7業種中それぞれ4業種、東京都の城北信金も4業種でランクインした。前回調査と比べ全体的には、メガバンクを除く県外の金融機関に比べ、県内勢の上位進出が進んでいる状況にあるといえる。

業 種 別

建設				製造				卸売				小売			
順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	埼玉りそな	5870	26.9%	1	埼玉りそな	1,768	20.5%	1	埼玉りそな	1,600	26.1%	1	埼玉りそな	1,550	28.9%
2	埼玉縣信金	2756	12.6%	2	武蔵野	970	11.3%	2	武蔵野	760	12.4%	2	武蔵野	658	12.3%
3	武蔵野	2752	12.6%	3	埼玉縣信金	787	9.1%	3	埼玉縣信金	501	8.2%	3	埼玉縣信金	645	12.0%
4	飯能信金	966	4.4%	4	みずほ	505	5.9%	4	三菱UFJ	475	7.7%	4	三菱UFJ	232	4.3%
5	川口信金	928	4.3%	5	三菱UFJ	501	5.8%	5	みずほ	453	7.4%	5	みずほ	228	4.3%
6	城北信金	867	4.0%	6	城北信金	408	4.7%	6	三井住友	312	5.1%	6	東和	213	4.0%
7	みずほ	748	3.4%	7	川口信金	365	4.2%	7	川口信金	193	3.1%	7	飯能信金	206	3.8%
8	青木信金	746	3.4%	8	三井住友	340	4.0%	8	群馬	187	3.0%	8	三井住友	185	3.4%
9	三菱UFJ	735	3.4%	9	青木信金	256	3.0%	9	城北信金	184	3.0%	9	群馬	164	3.1%
10	東和	714	3.3%	10	飯能信金	252	2.9%	10	飯能信金	156	2.5%	10	川口信金	146	2.7%
建設業合計		21,817	-	製造業合計		8,607	-	卸売業合計		6,134	-	小売業合計		5,363	-

不動産				運輸・通信				サービス			
順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	埼玉りそな	1,344	29.4%	1	埼玉りそな	542	22.5%	1	埼玉りそな	3,965	32.2%
2	武蔵野	549	12.0%	2	武蔵野	337	14.0%	2	武蔵野	1,321	10.7%
3	埼玉縣信金	459	10.0%	3	埼玉縣信金	225	9.3%	3	埼玉縣信金	1,044	8.5%
4	みずほ	205	4.5%	4	三井住友	129	5.4%	4	みずほ	624	5.1%
5	飯能信金	203	4.4%	5	三菱UFJ	112	4.7%	5	三菱UFJ	559	4.5%
6	三菱UFJ	178	3.9%	6	みずほ	97	4.0%	6	三井住友	486	4.0%
7	青木信金	153	3.3%	7	群馬	91	3.8%	7	群馬	368	3.0%
8	三井住友	147	3.2%	8	城北信金	85	3.5%	8	飯能信金	323	2.6%
9	東和	124	2.7%	9	足利	85	3.5%	9	東和	278	2.3%
10	川口信金	117	2.6%	10	川口信金	74	3.1%	10	川口信金	235	1.9%
不動産業合計		4,578	-	運輸・通信業合計		2,408	-	サービス業合計		12,301	-

3. 売り上げ規模別

売り上げ規模別に上位10行を集計したのが次頁の表（最新売り上げ数値の判明しない企業を除く）。

こちらで埼玉りそな銀行が全ての売り上げ規模でトップとなった。武蔵野銀行は「5000万円以上1億円未満」をはじめ4つのカテゴリーで2位。最小カテゴリーの「5000万円未満」では埼玉縣信金が2位となり、規模の小さいカテゴリーでは比較的信用金庫のランクインが目立つ。一方で、規模の大きいカテゴリーである「10億円以上50億円未満」では3位から5位、「50億円以上」では2位から4位までに三大メガバンクが占め、規模別の特徴がはっきりと表れている。

他都県に本店を置く金融機関としては、東和銀行が6つのカテゴリーのうち5つ、群馬銀行と城北信金がそれぞれ3つランクインした。このほか、足利銀行が2つ、りそな銀行が1つ入ったが、順位としては下位。業種別でみてきた通り、埼玉県企業のメインバンクは、県内に本店を置く金融機関を中心に、メガバンクがそれに続く格好で、それ以外の県外に本店を置く金融機関は下位が多くを占めている。

売 り 上 げ 規 模 別

5000万円未満				5000万円以上1億円未満				1億円以上5億円未満			
順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	埼玉りそな	6,458	27.7%	1	埼玉りそな	2,944	25.8%	1	埼玉りそな	4,883	25.7%
2	埼玉縣信金	2,701	11.6%	2	武蔵野	1,308	11.5%	2	武蔵野	2,515	13.2%
3	武蔵野	2,583	11.1%	3	埼玉縣信金	1,301	11.4%	3	埼玉縣信金	1,966	10.4%
4	三菱UFJ	1,004	4.3%	4	みずほ	459	4.0%	4	みずほ	807	4.2%
5	飯能信金	985	4.2%	5	三菱UFJ	456	4.0%	5	三菱UFJ	744	3.9%
6	みずほ	977	4.2%	6	飯能信金	441	3.9%	6	川口信金	677	3.6%
7	川口信金	806	3.5%	7	川口信金	436	3.8%	7	城北信金	669	3.5%
8	三井住友	740	3.2%	8	城北信金	435	3.8%	8	三井住友	666	3.5%
9	東和	726	3.1%	9	青木信金	374	3.3%	9	飯能信金	604	3.2%
10	城北信金	672	2.9%	10	三井住友	352	3.1%	10	東和	544	2.9%
5000万円未満合計		23,273	-	5000万円以上1億円未満合計		11,402	-	1億円以上5億円未満合計		18,993	-

5億円以上10億円未満				10億円以上50億円未満				50億円以上			
順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	埼玉りそな	1,119	29.8%	1	埼玉りそな	1,140	33.5%	1	埼玉りそな	246	29.6%
2	武蔵野	565	15.0%	2	武蔵野	375	11.0%	2	みずほ	124	14.9%
3	埼玉縣信金	269	7.2%	3	みずほ	296	8.7%	3	三菱UFJ	112	13.5%
4	三菱UFJ	209	5.6%	4	三菱UFJ	282	8.3%	4	三井住友	82	9.9%
5	みずほ	208	5.5%	5	三井住友	213	6.3%	5	武蔵野	68	8.2%
6	群馬	167	4.4%	6	埼玉縣信金	181	5.3%	6	群馬	17	2.0%
7	三井住友	148	3.9%	7	群馬	146	4.3%		りそな	17	2.0%
8	足利	104	2.8%	8	足利	101	3.0%	8	埼玉縣信金	14	1.7%
9	川口信金	91	2.4%	9	東和	74	2.2%	9	東和	10	1.2%
	東和	91	2.4%	10	飯能信金	66	1.9%	10	埼玉県信連	7	0.8%
5億円以上10億円未満合計		3,761	-	10億円以上50億円未満合計		3,401	-	50億円以上合計		831	-

4. 地域別

最後に、地域別に上位 10 行を集計したものが次頁の表である。

こちらも埼玉りそな銀行が全ての地域でトップとなり、次いで、「東部」「北部」において埼玉縣信金が、「西部」「南部」において武蔵野銀行が 2 位となった。

それぞれの地域で見ると、まず「東部」では、東武線沿線に店舗を多く置いている栃木銀行が 4 位、東京都葛飾区に本店を置く亀有信金が 7 位にランクインした。「西部」は、飯能市に本店を置き、埼玉県西部地区に営業網を築いている飯能信金が 3 位、また、東京都青梅市に本店を置く青梅信金が 9 位に入った。

県内で最も競争が激しいとされる「南部」は、川口市に本店を置く川口信金が 4 位、同じく本店が川口市の青木信金が 5 位となった。また、県外勢力として東京都内に本店を置く城北信金、巢鴨信金の 2 つの信用金庫もランクインした。「北部」では、前述のとおり熊谷市に本店を置く埼玉縣信金が 2 位にランクイン。また、群馬県に本店を置く群馬銀行が 3 位、東和銀行が 6 位、栃木県に本店を置く足利銀行が 5 位に入った。このほか、本庄市内に本店を置く埼玉信組が 7 位、熊谷市に本店を置く熊谷商工信組が 8 位に入るなど、地域性がよく出ているといえる。

地 域 別

東部				西部				南部				北部			
順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)	順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	埼玉りそな	3,651	26.9%	1	埼玉りそな	4,571	25.5%	1	埼玉りそな	5,273	25.1%	1	埼玉りそな	3,396	35.8%
2	埼玉縣信金	1,416	10.4%	2	武蔵野	2,322	13.0%	2	武蔵野	2,803	13.3%	2	埼玉縣信金	1,144	12.1%
3	武蔵野	1,291	9.5%	3	飯能信金	2,146	12.0%	3	埼玉縣信金	1,943	9.2%	3	群馬	1,046	11.0%
4	栃木	983	7.2%	4	埼玉縣信金	1,964	11.0%	4	川口信金	1,412	6.7%	4	武蔵野	1,023	10.8%
5	城北信金	824	6.1%	5	三菱UFJ	1,031	5.8%	5	青木信金	1,397	6.6%	5	足利	630	6.6%
6	三菱UFJ	755	5.6%	6	みずほ	899	5.0%	6	みずほ	1,196	5.7%	6	東和	606	6.4%
7	亀有信金	675	5.0%	7	三井住友	892	5.0%	7	城北信金	1,049	5.0%	7	埼玉信組	197	2.1%
8	みずほ	660	4.9%	8	東和	659	3.7%	8	三菱UFJ	970	4.6%	8	熊谷商工信組	196	2.1%
9	三井住友	460	3.4%	9	青梅信金	511	2.9%	9	三井住友	740	3.5%	9	みずほ	132	1.4%
10	川口信金	322	2.4%	10	川口信金	322	1.8%	10	巢鴨信金	686	3.3%	10	三井住友	115	1.2%
東部合計		13,579	-	西部合計		17,896	-	南部合計		21,028	-	北部合計		9,493	-